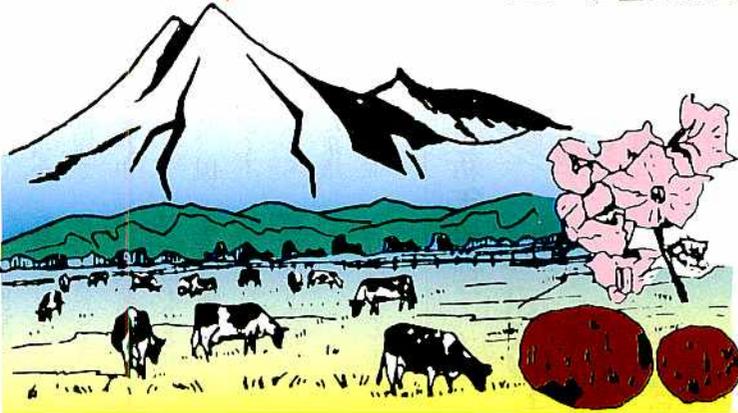


なか/べつ 農協だより



第109号

昭和59年1月

発行 中標津町農業協同組合
 編集 営 農 部
 印刷 アート印刷株式会社

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

1984年 元旦



新年号

中標津町農業協同組合

明けましておめでとうございます。一九八四年の新春を組合員・御家族の皆様共に御健勝で迎えられた事を心よりお慶び申し上げます。

昨年をふりかえります時、国際経済の余波をうけ、長びく不況に景気の回復を叫ばれながらも年を越し、年末行われた衆議院解散選挙は、政治・経済の混

当農協管内に於いても根室原野開拓以来の悪い天候で、酪農に不作なしと草地酪農を進めて来た根室酪農にも基礎飼料の不足を思わせる状況でしたが、生産者皆様の努力により、少ない好天を利用し、酪農においては質はともあれ、量的には出来ました。

のある事を考え、技術の上に生かし、前向きに努力していただきたいのです。さて今年であります、新しい内閣が生まれ、新政府に期待するものの経済不況は簡単に回復に向うとは思われません。アメリカは穀物不作による飼料の値上げを初め、税金問題・臨調による農業補助政策の見直



新年挨拶

協同の力を団結して 難局を乗り切ろう

中標津町農業協同組合 組合長理事 児玉光彦

迷を思いはせるものであります。農業問題においても経済不況の中にあつて、農畜産物の自由化拡大等、外圧は強まり、全国農民あげての阻止運動を行った年でした。

北海道に於いては春よりの異状気象により各地に大きな被害をもたらし、不景気とあいまってきびしい年でありました。

に栄養価はと心配ありますが、皆様の持てる技術により生産の落ちないよう努力して下さい。畑作に於いては平年を下廻る状況にあり、量・質共に悪く、特に澱粉含有量は少なく、ご苦労の多かつた年でした。

それらをふまえ、農協も再生産に向けて努力をしまいいりますが、皆様方も昨年のような年

し等、政治経済的に農業を圧迫することは必至と思われ、このような現況下にあつて、新しい時代認識をもつて、自己の経営を見直す必要があると思

生産費の低減・土づくりの推進・輪作体系の確立・自給飼料の利用向上等、生産者・農協共に一人一人の英知を結集し、論

議をつくし進めていかなければと考えます。

農協も新しい時代の農協としてきびしさを肝に銘じ、組合員皆様と共に協同と団結の力を柱に難局を乗り切つてまいりたいと存じますので、尚一層のご協

力をお願い致します。最後に組合員・お家族のご健勝とお多幸を、そして今年こそは豊作の年でありますよう心よりお祈り申し上げます。と致します。



後列/竹村満夫・秋山政雄・佐藤載康・山本雪信・鷲見孝・金子安有・岡部実 前列/三友盛行・千葉弘・千葉清一・児玉光彦・石崎多門・横田国雄・藤井弘美



「北海道農業基本構想」に総力結集

北海道農業協同組合中央会
会長 床 鍋 繁 則

新年おめでとうございます。悪夢のような異常気象災害の試練を越え、一九八四年の新年を迎えるに当り、ことしこそ豊稔の年でありませう願わずにはおれません。

同時にみなさまのご健康と協同活動の一層の発展を心から祈りいたします。

昨今の農業・農協をめぐる情勢は、社会経済動向の大きな変遷のもとで、組合員や農協の積極的な努力にもかかわらず、極めてむずかしい状況にあります。この難関を打開するため、私は一昨年「北海道農業及び農業経営の発展方向ならびに生活上と系統農協組織強化について、その実現方策はいかにあるべきか」を農業対策審議会に諮問いたしました。

「合員意向調査」をもとに、全道農協関係者の英知を集めて審議を願った結果、昨秋、昭和六十五年を目標とした「北海道農業基本構想」の答申をえまして、この構想は、新しい時代にふさわしい北海道農業を築くために、その主役となる組合員農家および系統農協の努力目標であり、その推進に必要な行政施策の確立目標としても位置付け、今年から関係者一丸となって推進に取り組むこととしております。

き点を含みつつも、総合農協の事業については先進国でありまして、世界に誇れる農協との自信を得ました。しかし、その組織力に甘んじることなく、全組合員が総意を結集し、新時代農業の確立を、基本構想を通して実践されるよう念願いたします。ともあれ、基本構想推進の主

役は、系統組織はもとより、組合員自身であります。新年を迎え、一・二月には農協教育強調月間を設定いたしておりますが、この期間を有効に活用し、構想の内容を学習し十分理解され、競争力のある足腰の強い農業の再編に邁進されますよう祈念し、年頭のごあいさついたします。

本年の農業情勢を考えて見るに余り明るい材料は見当りません。農家経済は度重なる冷災害による後遺症は依然として重くのしかかり、厳しい年と思われまます。その上、農畜産物の価格は低迷状態であり、今年も価格の上昇は期待できそうにもありません。この厳しい事態を何んとしても乗り越切るため、家族ぐるみで「我が家の生産・経営・生活」のあり方など、もう一度考え直して見るべきではないでしょうか。そして健全経営に取り組み希望に満ちた年にして頂きたくお願いいたします。

組合員各位のご健勝と益々のご発展を祈念いたしまして新年のご挨拶いたします。



年頭のあいさつ

中標津町農業協同組合
参事 伊 藤 松 義

明けましておめでとうございます。五十九年の新春を迎え、組合員の皆様にご挨拶を申し上げます。

昨年を振り返って見ると、六月から七月にかけて記録的な低温と日照不足が続き、本道の農業は昭和五十五年及び五十六年を上廻る史上最高ともいえる冷害に見舞われました。又、農畜産物の価格は依然として低迷が続く中で貿易自由化を求める外圧

は厳しさを増しております。管内の作況は七月に入っても太陽が姿を見せず、酪農経営に欠かせない粗飼料の収穫が心配されましたが、八月に入り、幸いに天候が回復し量的に越冬用飼料が確保することができ安心いたしました次第です。一方、品質・栄養価の面を考えると今後の牛乳の生産量や乳牛の個体管理面

の対応に充分意を注ぐ必要があると思われまます。又、畑作においては低温・日照不足が最後まで響き、馬鈴薯・ビートともに近年にない減収となり、畑作経営は本当に厳しいものとなりました。これを契機に畑専の経営体質の改善等を個々に相談し、健全経営の確立に努めて参りたいと考えております。

年頭の「あこがれ」



北根室地区農業改良普及所

所長 木村 猛 三

昭和五十九年の年頭にあたり、組合員はじめ家族の皆様へ心より新春のお慶びを申し上げます。

昨年は五月中旬以降、観測史上まれにみる不順な天候に見舞われ、馬鈴しょ・てん菜・サイレージ用とうもろこしは、大巾な減収を余儀なくされ、一方、牧草においても栄養収量の低下をきたしました。この間、皆様

の並々なぬご努力により、被害を最少限に食い止められました。このことについて、深く敬意を表します。

現在の日本農業をとりまく情勢は、一、農産物の需要不均衡、二、農産物価格の低迷、三、貿易自由化の圧力、四、農業関連財政のマイナスイメージ、五、臨調答申による農業および行政に対する圧力等、依然としてきびしさが続き、農業者およ

であることに疑義の余地がありません。

当普及所では、関係機関と密接な連携のもとに、その第一歩として年末より資料整備を急ぎ、高泌乳牛飼養を中心とした「営農改善資料」を作成しました。皆様と膝を交えて話し合いと検討を重ね、一頭当たり乳量向上のため、皆様と共に邁進すべく、所員一同心を新たに鋭意努力する覚悟でございます。



中標津町農協青年部

部長 乾 雅晴

新時代における農業を指して

す。近い将来は、農業生産部門にも最近の他産業で行われている先端技術、たとえばコンピュータやバイオテクノロジー等の導入が必ずともいわれております。これらの情勢に対応するためにも、今から強靱な経営を確立しておく必要があると思っております。

最後に皆様のご健勝とご多幸を祈念いたし、新年のごあいさついたします。

昭和五十九年の新年を迎え、

会員の皆様におかれましてはご家族ともにご壮健にてお迎えのことと心からお慶び申し上げます。合せて新しい年への決意と希望に燃えておられることと思

います。昨年は乳価も僅かに上がり、限度数量も大巾に拡大され、生産意欲に燃えていましたが、時付けが終ったとたんからの全道

的な異常低温・長雨で収穫作業にも困難をきわめました。質

はともかく量的にはなんとか確保されたことと思われま

す。農業をとりまく諸情勢は前年に引き続き農畜産物貿易自由化を始めとした外圧が強まり、内

しあい、そんな実践する」ことを期したものであります。

私達の活動にも少しでも出来るものを取り入れ、全員の英知でこの難局を乗り切りたいものです。そのためには若い力と情熱を結集し、自主自立の精神をもって行動しなければならぬと考えています。今後とも皆様

の活躍をお祈りし年頭のごあいさつと致します。

年頭の『あいさつ』



中標津町農協婦人部
部長 安 達 いその

明けましておめでとうございます。部員の皆様を始め、ご家族の皆様方には、お健かで新春を迎えられました事と心からお慶び申し上げます。

生活改善運動も本年はできる所から取り組み、実施して参りたいと思います。

私共は、農作業に、家事に、後継者育成に、忙しい毎日ですが、より明るい生活を求めて、一人一人がお互いに励まし合

低と言われ、農作物の生育が悪く、馬鈴薯も、ビートも減収でした。牧草も生育が悪く、一時は冬期間の飼料が大巾に不足するのではないかと心配しましたが、八月になって天候が回復して、粗飼料は確保しましたが、長雨のため質の低下が心配でございます。

加入促進を図り、農業基本構想の実践に農協を寄り所として学習活動と実践活動を進めて参らなければならぬと思ひます。本年も、部員一人一人が婦人部活動に積極的に参加して、活発な活動を進め、みんなでよりよい組織作りをし、更に強化するよう、努力して参ります。

諸物価が年毎に高騰する中で私達は、より明るい生活作り而努力して家族の健康管理者であるという自覚を更に深め、更に自給野菜を利用した手作り食品等で家族と自からの健康を守って参らなければならぬと思ひます。昨年より取り組んできた

一九八四年は、部員の皆様とご家族の皆様のご健康と幸多き年でありませうお祈り致します。して新春のご挨拶と致します。

受賞者に聞く 家計簿記帳が 生活内容を変えた

北進地区 来 栖 多美子さん

第29回わが家の家計簿体験発表



貯蓄増強中央委員会が主催する第二十九回「わが家の家計簿」体験談に応募して、その記録と成果が認められ、表彰を受けた北進地区の来栖多美子さんに受賞の感想と苦労話しを伺いました。

来栖さんは二十一年間、家計簿を記帳し続け、その成果がよ

うやく生活に生かされるようになり。と家計簿の必要性を訴えていました。

この体験から生かされた成果を発表したところ、全道で五名受賞されたうちの一人になり、地味な努力が認められた訳です。

その貴重な体験談をご紹介します。

農家生活を生かして自家野菜(四十種類)の栽培、乳製品の加工(ヨーグルト毎日)、バター(二年分)、アイスクリーム・牛乳など自給率は八〇パーセントにもなり、安心して食べられる事が食生活の利点という。

次に、無駄な買い物はしないを目標に、必要なものはメモをし、余分なものは買わないように努めた。忙しい時などはレシートにメモをし、あとで記帳するなどレシート活用が記帳に役立つというそうです。

これらの事が家庭生活にも生かされるようになり、家庭内の対話により、燃料代・電気代など家族が積極的に協力してくれるようになり、教育費のふくらみが節約によって、どうにか出費できる事を体験し、家計簿の記帳がムリ・ムダをなくし、家庭の中で生かされている事を

知る。

家計簿記帳は、長く続ける事がその成果をもたらし、役に立つ実践例を紹介しました。

高泌乳のための 乳牛飼養管理

雪印乳業中標津工場 徳 永 隆 一

乳牛の高能力を追求する上で重要な影響要因は遺伝三〇%、栄養及び飼養管理六〇%、環境要因一〇%と一般に言われています。

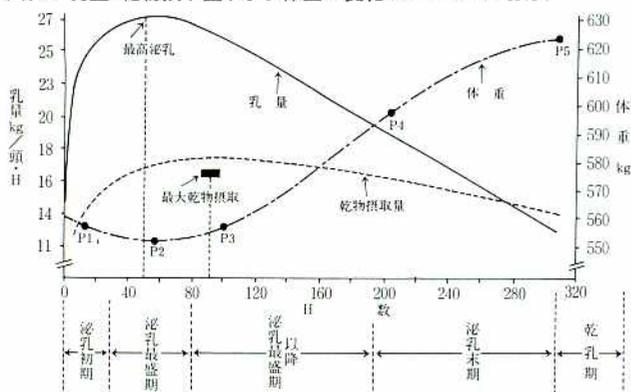
そこで今回は乳牛飼養体系を図表の如く五つの区分（泌乳初期・泌乳最盛期・泌乳最盛期以降・泌乳末期・乾乳期）にして飼養管理上の留意点について述べます。

(1) 泌乳初期

目的はより早期に栄養充足を高め、個体能力増進と同時に障害を防止するからである。

この時期は分娩直後という大きなストレスを持ち、非常にデリケートな時期であるが①乾乳期にグッドコンディションに調整できなかった牛、②乳房炎・ケトージス・食滞等にかかりやすい牛、③軟便・下痢傾向にあ

〈図表〉 乳量・乾物摂取量および体重の変化 (P.T.Chandler 1979)



る牛などの項目に該当する場合を除き、積極的に栄養充足を進めなければなりません。

この時期の飼料給与にあたっては、乳量の急速な伸びに比し

乾物摂取量の伸びは緩慢であるため、良質な栄養濃度の高い飼料を給与して充足させることが原則です。

粗飼料については、手持ち粗飼料のうち最良のものを給与し、乾物摂取量を高めてやることとが大事です。よって乾物摂取量を圧迫する多汁質粗飼料（高水分グラスサイレージ・根菜・デンプン粕等）の給与量は一日当たり体重の七%までを目安として制限することも必要です。

濃厚飼料については、タンパク・カロリー等のバランスを見て必要量給与するが①喰い込みが鈍くなった時、②乳量の伸びがみられなくなった時、③軟便・下痢が生じた時、④粗飼料・特に乾草の喰い込みが低下がみられた時などは濃厚飼料の増給はさけるべきです。

この時期に、粗飼

料・濃厚飼料いずれも充分に摂取させるためには飼料給与回数を増やすことが不可欠となります。例えば濃厚飼料給与に付いて一日当たり八kg以上になったら三回にわけて給与したいものです。なぜなら一回給与量が極端に多くなると胃内酸度が急変するからです。

又、この時期に発生しやすい代謝障害については、分娩前のボディコンディションをうまく調整することにより防止され、乳房炎についても細菌侵入を防ぐ体力増強・ストレス排除という点からして分娩前の要するに乾乳期における飼養管理が最も重要となってきます。(次号へ)



丸カッターで能率アップ

柄をつけただけの簡単なものですが製作には大変苦労したそうです。丸ノコの半分の回りの刃を取り、ガスで回りを温めて、そこをハンマーで打ち、腰を入れるのがコツで高度な技術があるそうです。

利用面では丸ノコサイレージの切断が容易にでき、仕事の能率アップに役立つという事です。

丸ノコを半分に切断し鉄の苦勞話を聞きました。

成地区の金子安有さんに作成

農協

を語る

運営原則とは何か？

農協運営 6つの原則

今回は、剰余金処分法の原則と教育活動促進の原則について述べてみたいと思います。

剰余金処分法の原則

組合の経済活動から生じる剰余金は、別名、節約金ともいわれる性格のもので、一般の企業でいう利潤とは違います。いわば、組合員が組合の事業を利用した結果の精算金ともいうべきものです。

このような性格の剰余金の分配にあたっては、つぎのことを留意しなければならぬので

す。

一つは、組合員個々の利益と組合全体の利益との関係で適正な均衡をはかることであり、もう一つは、組合員と組合員の関係が公平な状態におかれるということです。

従って、剰余金を処分する場合の方法としては、①組合の事業を発展させるための準備金、②組合員の共同利用施設づくり、③組合員の事業利用高に応じての割り戻し、の三つがあります。

いずれの分配方法を取るかは

*病 気 二件
利用した組合員の声を聞きま
すと、安心して任せられる。自
分よりまていに仕事をする。な
ど、利用者の声は好評です。
また、出勤したヘルパー要員
も、他人の仕事とあつて、真剣
に対応しています。

今後、組合員のご理解とご利用を更にお願ひ致します。
酪農ヘルパーご利用の時は、
一週間前に、開発振興課（事務

*旅行・出張 二件
*冠婚葬祭 五件



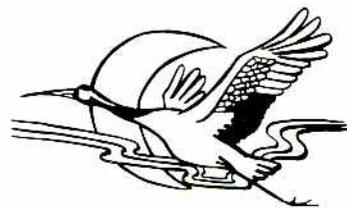
組合員の総意に基づいて決めなければならぬのです。

教育活動促進の原則

学習活動なくして農協運動な
し」と言われています。組合員
のかかえる課題を解決していく
ためには、まず、社会・経済・
政治の仕組みや働きについてよ
く理解する必要があります。
更には、協同組合運動の理論
と進め方についても深く学習し
なければ、農協運動の発展は期
待できないのです。

組合のおこなう教育活動に

局)に連絡をおねがひいたしま
す。なお、緊急の際は当日でも
結構です。



は、組合員・組合員子弟・役
員・職員・一般市民を対象と
したものがあつます。教育活
動は、その目標と具体的な内
容及び実施方法が明らかにさ
れ、計画的にまた継続的にお
こなわれる事が大事です。そ
のためには、十分な教育準備
金が用意されなければならな
いし、毎年度の剰余金からも
二〇分の一以上の資金を、そ
れに当てようという考え方を
とつていきます。

酪農ヘルパー 2年を経過して

利用範囲が広がり
利用者も増える!

五十七年一月スタートした酪農ヘルパーは、満二年を経過し、組合員からの利用状況も変わつており、四月から十一月末現在で見ますと、延日数で(酪農ヘルパー要員一人を基準として)三十六・五日となります。利用件数も、昨年は七件でしたが、今回は十件になり、利用される組合員の方も新しい方が多くなり、少しずつ組合員に浸透しているようです。

利用内容を見ますと次のよう
になっています。

シリーズ1

農家経済 再建のチャンス

冷害なくそ、負けてたまるか！

地球の寒冷化・

乾燥化が本当にやってきた

昨年ほど晴れた太陽の日をあまりがたいと思っただけではない。

いまから三年前「借金の恐ろしさ」という、このシリーズで、

太陽活動の長周期変化について載せ、その対応と心掛けなどを



太陽活動の長周期変動では1960年ごろをピークに減衰期に入り、急速に活動は弱まり1993年ごろに極小期を迎える。

訴えました。その後も、世界の気象学者は地球の乾燥化・寒冷化を予測し、警告を出していましたが。もう一度凶表をご覧下さい。

また先年、スイスで開かれた世界気象会議では次の三つのことが語られています。

- 一、地球の寒冷化は確かにやってくる。
- 二、一九八〇〜九〇年がもっとも激しい変動期間。
- 三、そのため食糧やエネルギー不足時代がやってくる。

わが国では西日本は酷暑に、東日本は冷夏にさらされました。米国では熱波で穀物に大被害、他の国でも異常気象が報道されています。さて、いままでも冷害を何回か経験されたと思いますが、飼料作物にまで及んだ被害は初めての方が多いためではないでしょうか。天地の恩恵の

大きさ、あらためてお気付のことでしよう。

農家経済再建の出発点に

いま、農業者は大変な問題をかかえてしまった。近くは五十五・五十六年の凶作被害に加え、昨年の冷害、農家負債の累増、コスト引下げの問題。需要・価格の停滞など何をとって

みても簡単ではありません。昨年の冷害凶作を契機に訴えたい。もっと豊かに、もっと便利にと求めることに急な余り、引締の手綱が緩みすぎていたのではなからうか。

この冷害をどう乗り切るか、困難を訴え、行政に依存するだけでは、問題は解決しません。殊に農家経済再建は、個人にと

っても、村町・協同にとっても火急の問題です。何時までも利息支払の小作人になっていてよいものではありません。「心の田んぼを耕し」自力再建の出発点にしていただきたいものです。

今回は「なにくそ、負けてたまるか」です。

健康メモ

糖尿病の予防(その3)

増えてきた糖尿病

中標津町保健課

このごろ糖尿病患者が増えているという話をよく耳にします。たしかにその数は増えつつあります。それは栄養状態がよくなつた結果、脂満

く見つかるようになったせいではないでしょうか。中標津町では昭和五十三年か

者が増加したせいでしょうし、年をとるにしたがい増える病気である所に、みんな長生きするようになった事、また、成人病検診の普及で今迄気づかれずにいた糖尿病が早

ら、糖尿病の患者さんと家族に対し糖尿病相談を行い、五年間で二五五人の患者さんを手がけてきました。ただ、町内医療機関との連携で行っていますので町外の医療機関にかかっている人や昭和五十三年以前に医療中

は、はるかに多い患者さんがいる事になります。一説には四〇才以上では二〇人に一人が糖尿病と言われています。つまり親兄弟が糖尿病である遺伝的素因のある人はもちろん、誰でも糖尿病になる可能性がありますのでかからないよう予防する事が肝要です。それには肥りすぎない・標準体重(身長一〇〇cm)×〇・九より一〇%を越えないように食べすぎない・又、バランスよく食べる・毎日運動をする・そして毎年成人病検診を受ける病気の早期発見をする事が大切です。

コスト低減と 具体的方策の意見が 続出!!

第32回全道農協青年部大会

経営内容の把握を行うため、簿記帳の徹底と農機具の効果的利用など、当面する課題が出された。分科会の後は活動実績発表に移り、当青年部は、「地域と歩む青年部活動」と題して、乾雅晴部長が最初に発表を行い、発表内容に多くの関心を集めた。

去る十一月八日・九日の二日間、洞爺湖温泉で第三十二回全道農協青年部大会が全道から盟友約八百名を集めて開催された。今回の大会統一テーマは、「北海道農業基本構想と農協青年部の取り組みについて」と題して、各討議が行われた。

一日目は、午後一時〜四時まで四分科会に分かれて討議が行われたが、特に第四分科会の酪農・畜産問題で討議された内容を紹介しますと、コスト低減のための具体的データ・方策が少なく、取り組みづらい。又、販売物の流通経費が不透明であり、具体的に提示してほしい。又、経営の安定を目指すため、

二日目は、午前八時から、世界の食糧事情と日本農業の方向と題して、NHK室蘭放送局の栗原直氏が講演し、アメリカの熱波による減収（一九八三年、トウモロコシ四十九％減収、大豆三十二％減収）更に表土の流失と水の問題などがある。またソ連では、一昨年まで四年連続の不作に悩んでいる両大国の問題は大きい。我が国の課題も山積みされている。その一つはコストの引き下げ、二つめは市場開放にあたっての留意点、三つめは安全な食品の供給、四つめは基本的な技術の見直しなどが必要と強調していました。

講演が終った後、全体討議を行い、大会全日程を終えた。



南武佐地区

小沼 清くん
まち子さん



十二月三日、中標津町寿宴において、村田雄平様御夫妻の御嫁により、小沼清君とまち子さんの結婚祝賀会が盛会に開催された。

二人は、昨年の一月に知人の紹介で初めての出会いとなり、約一年の交際で愛が実りゴールインとなった。

まち子さんは、標茶町の出身で、高校を卒業後、釧路のパートで三年間勤め都会の生活も経験し、酪農家の生まれである彼女は農村の良さを再認識したそうです。また、今は仕事・家族生活に慣れる事が課題という本人は、控え目なお嫁さんです。

清さんは、七人兄弟のうち三兄弟とお父さんの佐太男さんが共に酪農・畑作を経営し兄弟それぞれが力を合わせて各部門の責任を持ち、経営を盛り立てているそうです。また、三兄弟・家族がそろって旅行をする事が楽しみの一つだそうです。

一人は、今後、家庭にそして地域に根ざしていく事でしょう。

家の光図書

女性の生き方を問いかける、好評図書!

かぎりなき
日々に

藤原てい著／定価＝980円

嫁姑けんかの
すすめ

田中澄江著／定価＝1000円

果てしなき
流れのなかに

藤原てい著／定価＝1000円

ささやかな
幸福を

田中澄江著／定価＝980円

全道農協婦人部 大会に参加して

中標津町農協婦人部

南共栄支部長 長正路 八世栄

十一月十六日・十七日の両日にわたり、全道農協婦人部大会が洞爺湖「ホテルサンパレス」で行われました。全道から千数十名の部員が参加、当婦人部からは四名が参加しました。十六日午後一時から「北海道農業基本構想と農協婦人部の取り組みについて」という統一テーマで、

十一月十六日・十七日の両日にわたり、全道農協婦人部大会が洞爺湖「ホテルサンパレス」で行われました。全道から千数十名の部員が参加、当婦人部からは四名が参加しました。十六日午後一時から「北海道農業基本構想と農協婦人部の取り組みについて」という統一テーマで、

十一月十六日・十七日の両日にわたり、全道農協婦人部大会が洞爺湖「ホテルサンパレス」で行われました。全道から千数十名の部員が参加、当婦人部からは四名が参加しました。十六日午後一時から「北海道農業基本構想と農協婦人部の取り組みについて」という統一テーマで、

十一月十六日・十七日の両日にわたり、全道農協婦人部大会が洞爺湖「ホテルサンパレス」で行われました。全道から千数十名の部員が参加、当婦人部からは四名が参加しました。十六日午後一時から「北海道農業基本構想と農協婦人部の取り組みについて」という統一テーマで、

十一月十六日・十七日の両日にわたり、全道農協婦人部大会が洞爺湖「ホテルサンパレス」で行われました。全道から千数十名の部員が参加、当婦人部からは四名が参加しました。十六日午後一時から「北海道農業基本構想と農協婦人部の取り組みについて」という統一テーマで、

組織・農業・農協・生活・健康・若妻の六つの分科会に分かれて討議にはいりました。私は若妻部会にはいり、全道各地の若妻の方、又、年配の方そしてアドバイザーの先生方と二百名近い人達の分科会でした。若妻部会では、若妻の自主的な活動を進めるためには、親婦人部との連携を保つためには、若々しく魅力ある活動を進めるには、親と子の対話を深めるには、という四つの討議の柱とし、若妻会活動を進めていく上でいろいろな悩みなどが話し合われました。どこの地区でもどのような活動をしたら出席率が良くなるかというのが共通の悩みとなりました。家族の人達に気がねなく出るには、家庭内で話し合う機会を多くする事、又、子供を連れて来て臨時の保育さんをお願いで見てもらうなどという意見が出ていました。又、勉強会などはあまり出席率は良くないがスポーツ大会なら良い、一日中同じ事をしないで組み合わせて人を集めるなど、活動内容も話し合われました。

分科会のあと、家の光大会があり、体験発表では家計簿記載の重要性がとて強く発表されました。自家生産物の利用・手作り味噌・手作り豆腐・ストッカーを利用した野菜・副食品・お菓子等の保存、又、古着などを利用したりフォームなど、現金支出をおさえて合理的な家計のやりくりの工夫が発表され、

分科会のあと、家の光大会がとて勉強になりました。十七日は「これからの農村婦人のあり方」というテーマで、佐賀県で農業をしながら文筆活動を続けている山下惣一先生の講演があり、本大会に入りました。しかし飛行機の時間に間に合わなくなるといふ事で残念ながら途中で会場をぬけ出してしまった事が心残りでした。

現在で、所有期間が十年を超える場合をいい、「短期譲渡所得」は、その所有期間が十年以下の場合をいいます。
 長期譲渡所得の税額計算方法
 長期譲渡所得から特別控除(通常の場合百万円)を差し引いたものを課税長期譲渡所得とい、この課税長期譲渡所得が四千万円以下の場合については二十パーセントの税額が、四千万円を超える場合については次の算式で算出した額に八百万円を加えた税額がかかることとなります。(課税長期譲渡所得×二分の一+他の課税所得)×総合課税の税率- (他の課税所得+二千万円)×総合課税の税率
 短期譲渡所得の税額計算方法
 短期譲渡所得には、百万円の特別控除がなく、課税短期譲渡所得の四十パーセントの額が、次の算式で算出した額のどちらが多い方が税額となります。
 (課税短期譲渡所得-五十万円+その他の課税所得)×総合課税の税率- (その他の課税所得×総合課税の税率)×百パーセント



優良種雄牛 選抜事業のしくみ

〈家畜改良課〉

日本にホルスタインが導入されて百年以上も経ち、凍結精液の普及と共に優良種雄牛の有効利用が図られ、乳牛の改良については目覚ましい進歩がみられます。

しかし、その改良もアメリカ・カナダに見られるような科学的なデータの裏づけによるものでなく、見たり聞いたり、経験に基づくものが大半を占め、体型においては酪農先進国に追いついたものの、能力の面では遙るかに遅れをとっているのが現状です。

日本家畜改良事業団では昭和四十六年より我が国の気候風土にあった経済性のあう種雄牛を選定すべく優良種雄牛の選抜事業を進めています。この事業は体型・能力の面ばかりでなく、生産されてくる雄子牛を哺育か

ら肥育までの一貫飼育を行い、附加価値を高める為の種雄牛の産肉調査も合せて行っておりま

す。従ってこれらの哺育から肥育までの一貫調査の出来る所という事で中標津町農協がこの事業に協力する事となりました。現在まで選定された検定済種雄牛の中で中標津で利用されている種雄牛はP48、27、ロング・フィルド・テルスター号で体型・能力において保証が出来るという事で広く使用されております。

このように、この事業は種雄牛のもっている潜在遺伝能力や特性を把握し種雄牛の選抜淘汰を行うと共に、我が国にあった体型・能力共に経済性にあった種雄牛を選定しようという事業です。今回は三〇頭の候補種雄牛のうち次の七頭を対照として

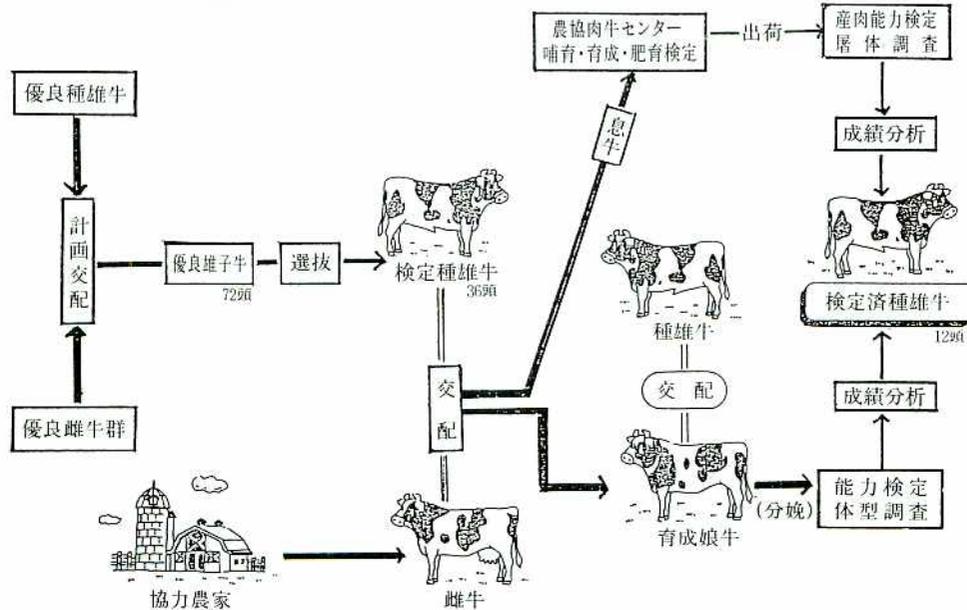
後代検定を行ってまいりますのでご協力のほどお願い致します。
P 224 ウイラーズ・コピシー・コメツテイ
P 225 セルローバー・ナイト・ポータル
P 226 ハッピー・ベル・ジユウ
エル・アイバンホー
P 227 イズミ・スカイラーク・クリストファー
P 228 ピュアファーム・ラッス
パール・アイバンホー
P 229 サニーロン・ブーツメー
カー・アイバンホー
P 230 ユランサ・アストロナウト・エース

〈事業の仕組み〉
一、毎年一月・二月に授精を行う。
二、生産娘牛は血液検査及び登録完了後、検定用娘牛として生後一〜二カ月で北海道農業公社が購入する。
三、生産雄子牛は、中標津町農協が初生牝として購入し、肥育施設に収容して産肉能力調査を行う。
四、購入価格については、購入月の相場とする。但し哺育料

は別途支払われます。
五、精液については、一頭につき二本無償となります。
六、奨励措置
イ、母牛保留金として流死産

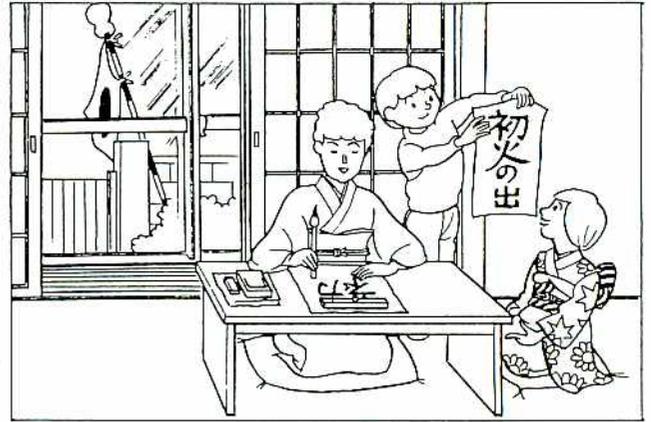
に關係なく一頭当り一万円
ロ、子牛生産奨励金として雌子牛が生産された場合一万円。雄子牛が生産された場合五千円となります。

優良乳用種雄牛選抜事業のしくみ



小・中学生の皆さん
どしどし応募下さい。

間違いさがし



この絵の中には、いくつ間違いがあるでしょうか。間違いを見つけて、その数をハガキに書いて送って下さい。

〔応募規定〕

- ①官製ハガキに答えを書いて送って下さい。
- ②あなたの氏名・住所・年令を書いて下さい。
- ③対象者＝小・中学生
- ④宛先＝中標津町東七条南二丁目
中標津町農協組織広報係

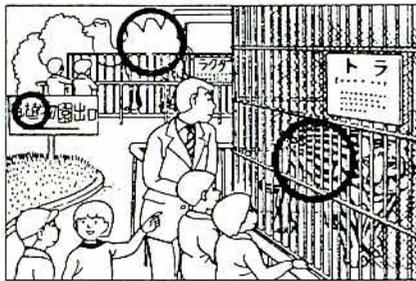
⑤締切日＝一月二〇日まで

*応募下さった方には全員参加賞を差し上げます。なお、正解者には当り賞を贈呈いたしますので多数応募下さい。
*発表は三月号紙面で発表いたします。

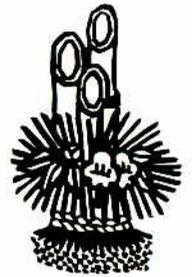
〔十一月号の当選者〕

十一月号の正解は「三つ」(下の図の○印)でした。応募者数一〇名で正解者は全員でした。全員に当り賞を差し上げますの

<11月号の間違い箇所>



- て広報係まで申し出下さい。
正解者は次の通りでした。
- 南共栄 唐崎大介くん 七才
 - 唐崎卓馬くん 九才
 - 小林香緒里ちゃん七才
 - 森島美由紀ちゃん十才
 - 中林亜紀子ちゃん九才
 - 純くん 十才
 - 亜矢ちゃん九才
 - 智くん 九才
 - 達也くん十一才
 - 乾 かおりちゃん八才



12月の組合日誌

- 十三日 管理部課長会議
- 十四日 営農委員会
- 十五日 営農部課長会議
- 十七日 農協酪対役員会
- 十九日 組合長会議
- 二十一日 理事会
- 三十日 仕事納め
- 三日 原動農場運営委員会
- 七日 生産連理事会
- 八日 馬鈴薯耕作者全体会議
- 店舖利用者懇談会
- 九日 代表監事連絡会議

<畜産販売課から>

お知らせ

年末年始の業務のお知らせについて

項目	年 末	年 始
哺育用初生牝集荷	12月27日(火)	1月9日(月)
血清用初生牝集荷	12月27日(火)	1月9日(月)
根室畜産公社 (と場)	12月27日(火) 午前10時	1月7日(土)
自家用と畜 (申し込みは 畜産販売課)	取りまとめ 12月15日(木) 搬入 12月19日~20日	
根室生産連 家畜市場	12月21日(水)	初せり 1月7日(土)